



言葉で感じる季節



「麦日和」は、麦蒔きに良い日和と、今の時期なら麦の刈り入れに適した日和、どちらの意味にも使われます。

これから梅雨に近づき、不安定な気候になります。それだけに、収穫の喜びと重なって、晴れた日の心地よさはひとしおと感じます。

毎日ねぎを収穫する分、毎月定植も行っていますが、梅雨の時期がめまぐるしく、晴れ間は私たちにとって定植日和、ねぎ日和です。



上半期の総盤、
目元に気血油が上昇したり
日差ししの強さを感じては日々々々
気づけば肌の色も日焼けして
黒くなっている農人たち

5月ですでに7月並の気温の日が続き、体力を奪われ、大変な時期になってきたなあと体感。新入社員たちは、一年の山場である真夏を乗り切れるように、体力づくりに励んでいます。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

NO.157

2020年6月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

今月の

ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

やわらか風味な春葱のお届けもラストスパートです

今月は、市内・亀岡圃場で育ったねぎをお届けしています。

3月に苗を定植したもので、ねぎにとって最も成長しやすい環境（温度）の中で過ごすことができた、蓄えたつぷり、元気いっぱいのおねぎです。

ただ、これからの季節は梅雨入りということもあり、病害虫が増えてくる時期でもあるので、収穫前の春葱を守るために農人たちは日々業務に勤しんでいます。

もうすぐ初夏、最後の春葱をお楽しみください。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信



坊主も収穫開始

6月に入るまで、毎年ねぎ坊主との付き合いが農人の宿命ではありますが、昨年からの取り組み始めたねぎ坊主の商品化に向けて坊主収穫を開始！

ねぎ坊主は、大きくなりすぎてしまったり花が咲ききってしまうと

あまり美味しくないの、小さい赤ちゃんねぎ坊主をひとつずつ摘んで収穫を行いました。

これくらい小さい坊主も
めたいなものに手作業で収穫しています！



メリット・デメリット双方あるので、これからの進捗が楽しみなところもあります。

（見た目はわかりませんが、直播しました！）

新たな取組として、今年は直播試験を行いました。これまで育苗→定植ではなく、畑に直接種を蒔いて栽培する方法。ねぎ栽培は苗を定植するのが一般的になっていますが、新たな試みとして今年から取り組んでいます。



直播用の種は成長が遅いタイプなので、バランス感覚も必要に...！
ふかふかした土のべたに種を蒔いています

新しい栽培方法に挑戦